

J-STAGE 登載・公開基準

1. 目的

この基準は科学技術情報発信・流通総合システム(J-STAGE)に科学技術刊行物の記事を登載して公開する場合の基準を定めるものである。

2. 登載・公開の対象記事

2.1 記事の種類

(1) 科学技術的な内容のある記事（査読有り:必須、査読なし:登載推奨）

これには査読済み論文(研究論文、短報、総説、コメント、エラータ、技術報告、実施報告、症例、講演記録(査読あり)、などを含む)およびその他の記事(解説、製品紹介、技術紹介、講演・学会記録(査読なし)、ガイドライン・規定・規制、教育用テキスト、などを含む)がある。査読済み論文は必ずJ-STAGEに登載することとする。査読なし論文についても、可能な限りJ-STAGEに登載すること。

(2) 一般記事（登載推奨）

一般記事(巻頭言、論説、論壇、対談・座談会、書評、報道、読者投稿、読み物、訃報・追悼、人物・機関紹介、一般記事の正誤表、などを含む)についても、可能な限りJ-STAGEに登載すること。

(3) 文芸記事（任意）

小説、随筆、詩歌、漫画、などの文芸の記事については、利用機関が希望すればJ-STAGEに登載することができる。

(4) 写真等（任意）

絵画、写真、イラスト、動画、音楽、楽譜など、本文が伴わない記事については、利用機関が希望すればJ-STAGEに登載することができる。その場合はこれらも標題と著作者名を付与して目次に掲載する。

(5) 編集関連記事（登載推奨）

編集委員・査読者名簿(マストヘッド)、購読要領、投稿規程、執筆要綱、奥付など雑誌の編集に直接関係する記事は、冊子体でページをつけて掲載される場合は、可能な限りJ-STAGEに登載すること。表紙裏などに印刷されページがない場合は、少なくとも各巻の第1号で、「H2」(表2の意味)などのページを付与して可能な限り登載すること。

(6) 二次情報記事(任意)

J-STAGEでは原則、1記事1PDFとして登載することとしている。大会プログラム、大会予稿集、大会抄録集、その他抄録集、ニュース集、その他短い紹介記事を集めたものなどの二次情報記事についても可能な限り1記事1PDFとして登載する。やむを得ず全体を1つのPDFにして集合記事として作成する場合は「第xx回xx学会大会抄録集」のような標題で登載する。

(7) 学会記事（任意）

学会行事予定・記録、学会会議議事録などの学会記事については、利用機関が希望すればJ-STAGEに登載することができる。その場合は全体を1つのPDFにして集合記事として作成し、「xx年xx月学会記事」のような標題で登載する。

(8) 目次・索引

J-STAGEでは登載記事の目次は自動的に作成されるが、これと別に号毎の目次・索引ページ、巻毎の総目次・総索引については冊子体でページをつけて掲載される場合は登載することができる。

(9) 広告（禁止）

J-STAGEでは広告を登載することはできない。ただし、通常のページに広告が印刷されて含まれる場合は消す必要はない。その場合は著作権に関し広告主の了解を得ること。

表1. 登載記事の種類(◎:必須、○:推奨、△:任意、×:登載不可)

項番	種別名	査読有無	例	登載
(1)	論文	査読付き	研究論文、短報、総説、コメント、エラータ、技術報告、実施報告、症例、講演記録	◎
		査読なし	研究・技術報告、解説、製品紹介、技術紹介、講演・学会記録、ガイドライン・規定・規制、教育用テキスト	○
(2)	一般記事		巻頭言、論説、論壇、対談・座談会、書評、報道、読者投稿、読み物、訃報・追悼、人物・機関紹介、正誤表	○
(3)	文芸記事		小説、随筆、詩歌、漫画	△
(4)	写真等		絵画、写真、図版、イラスト、動画、音楽、楽譜	△
(5)	編集関連記事		編集委員・査読者名簿(mathead)、購読要領、投稿規程・執筆要領	○
(6)	二次情報記事		大会プログラム、大会予稿集、大会抄録集、その他抄録集、ニュース集、その他短い紹介記事を集めたもの	△
(7)	学会記事		会合記録、会告、開催案内	△
(8)	目次・索引		号毎の目次・索引、巻毎の総目次・総索引	△
(9)	公告			×